

メンバー、ボランティア、学生  
みんな仲間!

令和3年11月号

# けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

令和3年11月1日(第199号)

第27回 千葉市障害者作品展がありました。



「愛に捧げたトルソ」

千葉市身体障害者連合会長賞 佐藤奈緒さん

ありがとうございます。心から嬉しく思います。  
コピックで表現してみました。オリジナルを創るにあたり、  
自分の感情をそのままぶつけてみました。愛に捧げたトルソ。  
トルソとはイタリア語で塑像の意味です。家庭を支える夫への  
尊重する愛を力強く描きました。賞をとるのが目的でなく、今、  
講師である姿を損得ぬきで生きることの姿勢をありのまま、人  
様の心に伝わるよう、3時間という短い間で筆を動かしました。

(2021.10.7 記)



「美しい女性」

努力賞 糸日谷敬一さん



写真の部

「安曇野の夕」

千葉日報社長賞 齋藤毅さん

(コメントは次ページ)

旅に出ている、2021年1月14日、「好天気だし、空気も澄んでいる。夕日が当たるに違いない。これだけ条件が揃うことはあまりない。今日しかない。この機を逃したくない」という思いが募った私は、予定を変更して、安曇沓掛駅に向かった。目的地は、そこから10分ほど歩いた所だった。そこで、一日に一本しか通らない「特急あずさ46号」を待ちながら、山を背景に列車がカーブしている瞬間を狙うことに決めていた。15:49、シャッターを切った。確かな手ごたえがあった。狙い通りに綺麗に写っているのを確認した時には、興奮すら覚えた。これからも「良い写真が撮れた」と思える日々がある限り続けていきたい。 齋藤 毅

### 松山雅子さんから電話がありました（以前の絵画のボランティアさん）

10月20日の11時30分。「もしもし、松山です。けやきメール、いつもありがとうございます」という明るい第一声。

引っ越した後、しばらくは次男の小平市の家において、「ずっといても良いよ」と言ってくれたけれど、孫も受験でその邪魔もしたくないし、ホームに入ることを自分で決めました。小平市の隣の東村山市なので、しょっちゅう、会いに来てくれます。コロナ禍だから1階で会うだけだけど。

私の部屋は、4階建ての4階、角部屋。2面がガラス窓。お天気が良いと富士山が見えるんですよ。それがまた素晴らしくて。皆が「良いわね」と羨ましがってます。広さは6畳に押し入れとトイレ。好きな物に囲まれています。

食堂は3階にあって、食事時間は、7時40分、12時、6時。それから、午前午後にお茶の時間があって、お喋りしながらお茶やジュースを頂いて楽しいひと時です。食堂の席替えも3か月に一度あるので変化があってもおもしろいです。読書会、健康体操、毎朝9時からのラジオ体操。買い物も散歩も自由。特に通院もしていません。少し、白内障があるくらい。50人中、女性が36人。いろいろな方がいらっしゃるので飽きないの。皆さんとはほどほどの距離を持ってお付き合いをしています。

良いところに引っ越せたと思います。閉鎖的なところがない、終の棲家として希望があります。どっこい生きていますよ。不満はひとつもないけれど、けやきが近くにあれば、もっとよかったのにといつも思っています。皆さん、お元気ですか。けやきで描いた「茄子」の絵などを見て、けやきを思い出しています。とても懐かしいです。

14日(木) 成田ゆめ牧場



15日(金) マザー牧場



道の駅（風和里）





川 柳（実習生特集）

初挑戦白熱だった五目並べ ひかる

勝つなんてまだまだ早いオセロ修行 若奈

待ちわびるパン販売での再会を 桜

日々出会い変化していくけやき路 知世

牧場の豚追うちびっ子笑顔咲く 由布奈

皆の個性秋のけやきの葉の如し 莉奈

